

令和 3 年 度

仙南地域広域行政事務組合一般会計及び
仙南芸術文化センター特別会計歳入歳出決算

審 査 意 見 書

仙南地域広域行政事務組合監査委員

仙 広 監 第 7 号
令和 4 年 8 月 3 1 日

仙南地域広域行政事務組合
理事長 滝 口 茂 殿

仙南地域広域行政事務組合
監査委員 佐藤 長 壽 郎
監査委員 齋 藤 英 本



決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度仙南地域広域行政事務組合一般会計・仙南芸術文化センター特別会計歳入歳出決算、証書類、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書を審査した結果、別紙のとおりその意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
第 5	決算の概要	2
1	一般会計	2
(1)	総括	2
(2)	歳入	2
(3)	歳出	5
2	仙南芸術文化センター特別会計	10
(1)	総括	10
(2)	歳入	10
(3)	歳出	12
3	財産に関する調書	13
(1)	土地及び建物	13
(2)	物品	13
(3)	基金	13
第 6	審査意見	14
1	一般会計について	14
2	特別会計について	14
3	財産の状況について	15
4	契約事務について	15
5	むすび	15

令和３年度仙南地域広域行政事務組合 一般会計・仙南芸術文化センター特別会計 歳入歳出決算審査意見

第１ 審査の対象

令和３年度 仙南地域広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算

令和３年度 仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計歳入歳出決算

上記各会計の証書類、歳入歳出決算事項別明細書及び実質収支に関する調書

令和３年度 仙南地域広域行政事務組合財産に関する調書

第２ 審査の期間

令和４年８月２４日から同年８月３１日まで

第３ 審査の方法

審査は、令和３年度一般会計・特別会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書について、各関係職員等からの説明聴取等の方法により計数の正確性、支出命令等との符合、収支の適法性等について実施した。

第４ 審査の結果

審査に付された一般会計・特別会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつ、それらの計数は証書類と符合し正確であり、予算執行状況についても適正であると認める。

※文中に用いている千円単位の金額は、原則として千円未満を四捨五入している。

第5 決算の概要

1 一般会計

(1) 総括

令和3年度における一般会計の予算現額は、歳入歳出それぞれ 4,821,847,850 円で、これに対する決算額は歳入総額 4,854,730,494 円、歳出総額 4,722,243,871 円となり、歳入歳出差引額 132,486,623 円から繰越明許に伴う翌年度へ繰り越すべき財源 99,000 円を差し引いた実質収支は、132,387,623 円となっている。このうち、地方自治法第 233 条の 2 の規定による基金繰入額 98,600,000 円が積み立てられ、差し引き 33,787,623 円が翌年度へ繰越しとなっている。

(2) 歳入

予算現額 4,821,847,850 円に対して、調定額、収入済額ともに 4,854,730,494 円で収入率は 100.7%となっている。

(単位：円)

区 分	当初予算額	補正額	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算額に対する収入割合 (%)	調定額に対する収入割合 (%)	決算構成比率 (%)
分担金及び負担金	3,575,949,000	△72,218,000	0	3,503,731,000	3,503,731,580	3,503,731,580	0	100.0	100.0	72.2
使用料及び手数料	526,734,000	9,931,000	0	536,665,000	554,482,729	554,482,729	0	103.3	100.0	11.4
国庫支出金	11,830,000	△1,049,000	22,835,000	33,616,000	24,836,189	24,836,189	0	73.9	100.0	0.5
県支出金	12,351,000	0	0	12,351,000	12,351,536	12,351,536	0	100.0	100.0	0.3
財産収入	47,519,000	40,388,000	0	87,907,000	103,510,631	103,510,631	0	117.8	100.0	2.1
繰入金	200,947,000	△54,423,000	0	146,524,000	146,607,000	146,607,000	0	100.1	100.0	3.0
繰越金	20,330,000	28,975,000	55,716,850	105,021,850	105,022,551	105,022,551	0	100.0	100.0	2.2
諸収入	152,785,000	42,047,000	0	194,832,000	206,088,278	206,088,278	0	105.8	100.0	4.2
組合債	162,000,000	27,800,000	11,400,000	201,200,000	198,100,000	198,100,000	0	98.5	100.0	4.1
合 計	4,710,445,000	21,451,000	89,951,850	4,821,847,850	4,854,730,494	4,854,730,494	0	100.7	100.0	100.0

1 款 分担金及び負担金

予算現額 3,503,731,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 3,503,731,580 円となり、内訳は、市町負担金が 3,497,246,000 円、高速自動車道救急業務負担金が 6,485,580 円となっている。

市町負担金内訳

(単位：円)

区 分	合 計	内 訳						
		総 務 費	徴 税 費	民 生 費	衛 生 費	消 防 費	教 育 費	圏 域 文 化 振 興 費
白 石 市	607,512,000	44,769,000	13,428,000	14,147,000	165,317,000	363,657,000	6,194,000	
角 田 市	569,660,000	37,928,000	10,316,000	12,025,000	189,199,000	314,908,000	5,284,000	
蔵 王 町	291,399,000	15,883,000	4,831,000	5,218,000	85,727,000	177,554,000	2,186,000	
七ヶ宿町	65,421,000	1,783,000	505,000	719,000	14,233,000	47,934,000	247,000	
大河原町	485,289,000	31,702,000	5,997,000	7,924,000	89,018,000	263,642,000	4,402,000	82,604,000
村 田 町	259,985,000	14,431,000	2,535,000	4,506,000	67,096,000	160,462,000	1,984,000	8,971,000
柴 田 町	657,495,000	50,493,000	9,890,000	13,593,000	161,575,000	383,215,000	7,014,000	31,715,000
川 崎 町	224,987,000	11,625,000	2,348,000	3,828,000	52,124,000	153,459,000	1,603,000	
丸 森 町	335,498,000	17,425,000	3,039,000	6,399,000	107,582,000	198,625,000	2,428,000	
合 計	3,497,246,000	226,039,000	52,889,000	68,359,000	931,871,000	2,063,456,000	31,342,000	123,290,000

2 款 使用料及び手数料

予算現額 536,665,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 554,482,729 円となっている。
内訳は、斎苑使用料 26,670,000 円、行政財産使用料 1,106,139 円、ごみ処理手数料 225,812,950 円、動物死体焼却手数料 3,523,040 円、家庭ごみ処理手数料 294,639,000 円、消防手数料 2,731,600 円である。

3 款 国庫支出金

予算現額 33,616,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 24,836,189 円となっている。
内訳は、廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金 937,200 円、放射性物質汚染廃棄物処理事業費補助金 5,911,050 円、消防・救急体制整備費補助金 1,785,939 円、廃棄物処理施設災害復旧事業費補助金 16,202,000 円である。

4款 県支出金

予算現額 12,351,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 12,351,536 円となっている。
内訳は、県移譲事務交付金 2,298,536 円、市町村振興総合補助金 10,053,000 円である。

5款 財産収入

予算現額 87,907,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 103,510,631 円となっている。
内訳は、財政調整基金積立金利子 177,792 円、衛生施設整備基金積立金利子 2,066 円、消防施設整備基金積立金利子 3,068 円、ふるさと市町村圏基金積立金利子 941,720 円、普通財産貸付料 1,098,967 円、資源回収物売払代 99,935,844 円、不用車売払代 385,000 円、解体材売払代 966,174 円である。

6款 繰入金

予算現額 146,524,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 146,607,000 円となっている。
内訳は、財政調整基金 142,160,000 円、ふるさと市町村圏基金 4,447,000 円である。

7款 繰越金

予算現額 105,021,850 円に対し、調定額、収入済額ともに 105,022,551 円となっている。
うち、繰越明許費繰越額分が 55,716,850 円となっている。

8款 諸収入

予算現額 194,832,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 206,088,278 円となっている。
内訳は、介護認定審査判定業務受託事業収入 40,000 円、滞納処分費 81,800 円、雑入 205,966,478 円(主として、宮城県派遣職員負担金 15,219,439 円、新型コロナウイルス感染症患者移送協力経費 1,270,000 円、売電収入 162,696,058 円、亘理名取共立衛生処理組合ごみ処理費用負担金 20,635,290 円、建物総合損害共済災害共済金 247,500 円等)である。

9款 組合債

予算現額 201,200,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 198,100,000 円となっている。
これは、衛生債としてあぶくま斎苑空調設備等改良工事、し尿処理施設(柴田)生し尿貯留槽他改良工事、消防債として普通消防ポンプ自動車(大河原消防署川崎出張所)購入、高規格救急自動車(白石消防署)購入、救急洗浄室改修工事(大河原消防署)、災害復旧債として仙南最終処分場災害復旧工事、仙南クリーンセンター外壁等災害復旧工事等に係る組合債である。

(3) 歳出

予算現額 4,821,847,850 円に対して、支出済額は 4,722,243,871 円で執行率は 97.93% となっている。

(単位：円)

区 分	当初予算額	補正額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	流用充当額	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率 (%)	決算構 成比率 (%)
議 会 費	23,987,000	△ 895,000	0	0	23,092,000	22,813,576	0	278,424	98.79	0.5
総 務 費	197,026,000	△ 1,748,000	0	98,000	195,376,000	192,649,446	0	2,726,554	98.60	4.1
民 生 費	69,139,000	△ 46,000	2,458,500	12,000	71,563,500	69,801,949	0	1,761,551	97.54	1.4
衛 生 費	1,659,034,000	55,766,000	0	2,437,000	1,717,237,000	1,705,230,013	0	12,006,987	99.30	36.1
消 防 費	2,197,671,000	△ 63,024,000	0	1,660,000	2,136,307,000	2,106,420,446	0	29,886,554	98.60	44.6
教 育 費	159,470,000	△ 365,000	0	0	159,105,000	158,933,696	0	171,304	99.89	3.4
公 債 費	373,068,000	△ 5,329,000	0	0	367,739,000	367,716,095	0	22,905	99.99	7.8
予 備 費	31,050,000	16,093,000	0	△ 4,226,000	42,917,000	0	0	42,917,000	0.00	0.0
災害復旧費	0	20,999,000	87,493,350	19,000	108,511,350	98,678,650	1,199,000	8,633,700	90.94	2.1
合 計	4,710,445,000	21,451,000	89,951,850	0	4,821,847,850	4,722,243,871	1,199,000	98,404,979	97.93	100.0

1 款 議会費

予算現額 23,092,000 円に対し、支出済額は 22,813,576 円で執行率は 98.79%、決算額構成比は 0.5% となっている。

支出の主なものは、報酬 4,665,942 円、職員給与 13,898,387 円、共済組合負担金 2,664,914 円、退職手当組合負担金 739,101 円である。

2 款 総務費

予算現額 195,376,000 円に対し、支出済額は 192,649,446 円で執行率 98.60%、決算構成比 4.1% となっている。

内訳は、一般管理費 121,880,844 円、財政管理費 17,353,857 円、会計管理費 251,350 円、企画費 1,392,622 円、徴税費 51,362,822 円、監査委員費 407,951 円である。

支出の主なものは、報酬(理事、産業医、滞納整理指導員、監査委員) 4,774,800 円、特

別職給与 9,824,764 円、一般職給与 113,964,543 円、共済組合負担金 25,228,354 円、退職手当組合負担金 7,598,128 円、需用費（光熱水費等）8,832,312 円、委託料（例規電子システムデータ作成委託料、庁舎清掃委託料、滞納管理システムプログラム変更委託料等）4,983,736 円、使用料及び賃借料（財務会計システム賃借料、滞納管理システム賃借料等）10,869,769 円である。

3 款 民生費

予算現額 71,563,500 円に対し、支出済額は 69,801,949 円で執行率は 97.54%、決算構成比は 1.4%となっている。内訳は、介護保険費 60,181,809 円、障害福祉費 9,620,140 円である。

支出の主なものは、報酬 11,220,300 円、職員給与 36,583,678 円、共済組合負担金 7,514,633 円、退職手当組合負担金 2,156,145 円、旅費 1,128,986 円、使用料及び賃借料（審査会資料作成支援システム賃借料等）6,085,018 円である。

4 款 衛生費

予算現額 1,717,237,000 円に対し、支出済額は 1,705,230,013 円で執行率 99.30%、決算構成比 36.1%となっている。

所属ごとの内訳は、次のとおりである。

ア 業務課

支出済額は 81,849,592 円で、主な支出は、職員給与 46,657,427 円、共済組合負担金 9,394,198 円、退職手当組合負担金 2,773,104 円、消耗品費 2,642,697 円（印刷製本費等）、委託料（公有財産管理委託料等）708,394 円、使用料及び賃借料 1,211,082 円（ごみ出し支援システム使用料等）である。

イ 白石斎苑

支出済額は 32,857,081 円で、主な支出は、需用費（光熱水費等）9,764,855 円、委託料（運営委託料）23,060,756 円である。

ウ セケ宿斎苑

支出済額は 1,170,855 円で、主な支出は、需用費（燃料費等）469,860 円、委託料（火葬業務委託料）630,960 円である。

エ あぶくま斎苑

支出済額は 185,697,747 円で、主な支出は、需用費（光熱水費等）13,481,261 円、委託料（火葬業務委託料等）16,829,766 円、工事請負費（空調設備等改良工事等）136,114,000 円、積立金 19,000,000 円である。

オ 柴田斎苑

支出済額は 39,835,130 円で、主な支出は、需用費(光熱水費等) 11,840,780 円、委託料(運営委託料 27,960,315 円である。

カ 川崎斎苑

支出済額は 4,759,561 円で、主な支出は、需用費(光熱水費等) 1,433,900 円、委託料(火葬業務委託料等) 3,244,560 円である。

キ 仙南リサイクルセンター

支出済額は 219,110,130 円で、主な支出は、職員給与 23,268,751 円、共済組合負担金 4,838,394 円、退職手当組合負担金 1,144,560 円、需用費(光熱水費、修繕料 18,587,770 円、委託料(施設運転管理委託料、可燃残渣物運搬委託料等) 115,359,031 円、工事請負費(破碎設備他補修工事等) 26,323,000 円、積立金 26,000,000 円である。

ク 仙南最終処分場

支出済額は 6,561,541 円で、主な支出は、需用費(修繕料等) 1,807,927 円、委託料(一般廃棄物処理施設維持管理に伴う各種検査分析委託料等) 4,148,987 円、である。

ケ 仙南クリーンセンター

支出済額は 752,143,257 円で、主な支出は、役務費(証紙売りさばき手数料等 16,206,007 円、委託料(運營業務委託料、災害廃棄物処理業務委託料等) 724,196,004 円、積立金 11,704,000 円である。

コ 動物焼却施設

支出済額は 7,733,598 円で、主な支出は、職員給与 2,892,615 円、共済組合負担金 542,711 円、退職手当組合負担金 159,384 円、工事請負費(動物炉耐火物補修工事 3,080,000 円である。

サ し尿処理施設(角田)

支出済額は 176,270,760 円で、主な支出は、職員給与 40,595,988 円、共済組合負担金 8,550,508 円、退職手当組合負担金 1,895,982 円、需用費(消耗品費、光熱水費等) 44,800,673 円、工事請負費(汚泥脱水設備他補修工事等) 64,350,000 円、積立金 2,500,000 円である。

シ し尿処理施設(柴田)

支出済額は 197,240,761 円で、主な支出は、職員給与 33,067,751 円、共済組合負担金 7,036,879 円、退職手当組合負担金 2,663,301 円、需用費(消耗品費、光熱水費等) 84,570,592 円、工事請負費(生し尿貯留槽他改良工事等) 61,072,000 円、積立金 2,000,000 円である。

5 款 消防費

予算現額 2,136,307,000 円に対し、支出済額は 2,106,420,446 円で、執行率は 98.60%、決算構成比は 44.6%となっている。

支出の主なものは、職員給与 1,341,009,822 円、共済組合負担金 271,057,506 円、退職手当組合負担金 74,590,751 円、需用費(消耗品費、光熱水費等) 83,077,048 円、委託料(梯子付消防自動車分解整備委託料等) 78,787,041 円、備品購入費(高規格救急自動車、普通消防ポンプ自動車等 105,264,676 円、積立金 100,003,068 円である。

6 款 教育費

予算現額 159,105,000 円に対し、支出済額は 158,933,696 円で、執行率は 99.89%、決算構成比は 3.4%となっている。内訳は、教育総務費 27,596,229 円、社会教育費 2,925,355 円、圏域文化振興費 128,412,112 円である。

支出の主なものは、職員給与 21,483,681 円、共済組合負担金 4,148,559 円、退職手当組合負担金 1,240,671 円、委託料(AZ9ジュニア・アクターズ養成委託料等) 3,716,374 円、備品購入費(視聴覚教材及び機器等) 1,191,630 円、積立金 102,030 円、繰出金 124,690,000 円である。

7款 公債費

予算現額 367,739,000 円に対し、支出済額は 367,716,095 円で執行率は 99.99%、決算構成比は 7.8%となっている。内訳は、元金償還金 358,883,077 円、利子償還 8,833,018 円、借入額が 198,100,000 円(8件)である。

年度末地方債残高は、4,587,609,937 円である。

(単位：円)

区 分		令和 2 年 度 現 在 高	令 和 3 年 度 中			年 度 末 残 額	
			借 入 額	元 金 償 還 額	利 子 償 還 額		
一 般 会 計	衛 生	3,961,035,385	148,300,000	248,472,948	5,964,223	3,860,862,437	
	内 訳	白 石 斎 苑	884,933,315	0	9,363,817	1,070,819	875,569,498
		あぶくま斎苑	25,791,723	101,500,000	4,267,890	20,803	123,023,833
		柴 田 斎 苑	934,476,573	0	15,965,834	459,055	918,510,739
		仙南リサイクルセンター	74,632,986	0	16,897,086	818,852	57,735,900
		仙南最終処分場	107,500,000	9,400,000	10,730,663	39,276	106,169,337
		仙南クリーンセンター	1,862,289,764	19,800,000	180,270,427	3,378,632	1,701,819,337
		し尿処理施設 (角 田)	16,773,321	0	3,080,493	74,614	13,692,828
		し尿処理施設 (柴 田)	54,637,703	17,600,000	7,896,738	102,172	64,340,965
	消 防	787,357,629	49,800,000	110,410,129	2,868,795	726,747,500	
合 計		4,748,393,014	198,100,000	358,883,077	8,833,018	4,587,609,937	

8款 予備費

18件 4,226,000 円の予備費充当があった。

9款 災害復旧費

予算現額 108,511,350 円に対し、支出済額は 98,678,650 円で執行率は 90.94%、決算構成比は 2.1%となっている。内訳は、廃棄物処理施設災害復旧費 87,458,650 円、保健衛生施設等災害復旧費 11,220,000 円である。

これは、委託料(浸出水処理委託料等) 26,677,050 円、工事請負費(法面等災害復旧工事等) 72,001,600 円である。

なお、仙南クリーンセンター燃焼ガス冷却設備復旧工事 1,199,000 円が令和4年度へ繰越しとなっている。

2 仙南芸術文化センター特別会計

(1) 総括

令和3年度における特別会計の予算現額は、歳入歳出それぞれ171,763,000円で、これに対する決算額は歳入総額172,233,290円、歳出総額156,762,507円となり、歳入歳出差引額15,470,783円となっている。このうち、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額12,000,000円が積み立てられ、差し引き3,470,783円が翌年度へ繰越しとなっている。

(2) 歳入

予算現額171,763,000円に対し、調定額、収入済額ともに172,233,290円で収入率は100.3%となっている。

(単位：円)

区 分	当初予算額	補正額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算額に対する収入割合(%)	調定額に対する収入割合(%)	決算構成比率(%)
事業収入	1,451,000	△96,000	0	1,355,000	1,370,000	1,370,000	0	101.1	100.0	0.8
使用料及び手数料	7,351,000	△957,000	0	6,394,000	7,062,162	7,062,162	0	110.4	100.0	4.1
財産収入	16,000	8,000	0	24,000	23,600	23,600	0	98.3	100.0	0.1
繰入金	128,690,000	0	0	128,690,000	128,690,000	128,690,000	0	100.0	100.0	74.7
繰越金	1,500,000	2,754,000	0	4,254,000	4,254,108	4,254,108	0	100.0	100.0	2.4
諸収入	253,000	0	0	253,000	40,420	40,420	0	16.0	100.0	0.1
組合債	23,100,000	△2,400,000	0	20,700,000	20,700,000	20,700,000	0	100.0	100.0	12.0
国庫支出金	0	10,093,000	0	10,093,000	10,093,000	10,093,000	0	100.0	100.0	5.8
合 計	162,361,000	9,402,000	0	171,763,000	172,233,290	172,233,290	0	100.3	100.0	100.0

1 款 事業収入

予算現額1,355,000円に対し、調定額、収入済額ともに1,370,000円となっている。これは、友の会収入である。

2 款 使用料及び手数料

予算現額 6,394,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 7,062,162 円となっている。内訳は、仙南芸術文化センター使用料 6,894,953 円、行政財産使用料 167,209 円である。

3 款 財産収入

予算現額 24,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 23,600 円となっている。内訳は、財政調整基金積立金利子 13,205 円、解体材売払代 10,395 円である。

4 款 繰入金

予算現額 128,690,000 円に対して、調定額、収入済額ともに 128,690,000 円となっている。内訳は、一般会計繰入金 124,690,000 円、財政調整基金繰入金 4,000,000 円である。

5 款 繰越金

予算現額 4,254,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 4,254,108 円となっている。

6 款 諸収入

予算現額 253,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 40,420 円となっている。これは、雑入である。

7 款 組合債

予算現額 20,700,000 円に対して、調定額、収入済額ともに 20,700,000 円となっている。これは、基幹設備更新事業債として舞台機構更新工事に係る組合債である。

8 款 国庫支出金

予算現額 10,093,000 円に対し、調定額、収入済額ともに 10,093,000 円となっている。これは、文化芸術振興費補助金である。

(3) 歳出

予算現額 171,763,000 円に対し、支出済額は 156,762,507 円で執行率は 91.27%となっている。

(単位：円)

区 分	当初予算額	補正額	継続費及び繰越事業費繰越額	流用充当額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率(%)	決算構成比率(%)
仙南芸術文化センター費	160,318,000	6,677,000	0	240,000	167,235,000	155,764,389	0	11,470,611	93.14	99.4
公 債 費	1,043,000	△44,000	0	0	999,000	998,118	0	882	99.91	0.6
予 備 費	1,000,000	2,769,000	0	△240,000	3,529,000	0	0	3,529,000	0.00	0.0
合 計	162,361,000	9,402,000	0	0	171,763,000	156,762,507	0	15,000,493	91.27	100.0

1 款 仙南芸術文化センター費

予算現額 167,235,000 円に対し、支出済額は 155,764,389 円で執行率は 93.14%、決算構成比は 99.4%となっている。

支出の主なものは、職員給与 34,489,772 円、共済組合負担金 6,991,199 円、退職手当組合負担金 1,942,935 円、需用費(光熱水費、修繕料等) 22,245,748 円、委託料(施設管理業務委託料、舞台設備操作維持管理業務委託料等) 33,430,196 円、工事請負費(舞台機構更新工事等) 35,861,100 円、実行委員会負担金 16,194,753 円である。

2 款 公債費

予算現額 999,000 円に対し、支出済額は 998,118 円で執行率は 99.91%、決算構成比は 0.6%となっている。内訳は、元金償還金 990,000 円、利子償還 8,118 円、借入額が 20,700,000 円(1件)である。

年度末地方債残高は、29,610,000 円である。

3 款 予備費

3 件 240,000 円の予備費充当があった。

3 財産に関する調書

(1) 土地及び建物

ア 土地における決算年度末現在高合計は、357,499.16 m²で、増減はない。

イ 建物における延面積決算年度末現在高合計は、48,583.60 m²で、増減はない。

(2) 物品

車両については、新規1台（資機材搬送車）、更新配備2台（普通消防ポンプ自動車、高規格救急自動車）、廃棄1台（普通消防ポンプ自動車）となっている。

衛生関係では、放射能測定器及び付属品一式1台、消防関係では、空気充填用コンプレッサ更新1台、教育関係では、紙しばい教材3本、DVD教材24本が増加している。

(3) 基金

(単位：円)

区 分	令和3年3月末日 現 在 高	令 和 3 年 度 中			令和4年3月末日 現 在 高
		積 立 額	取 崩 し 額	繰 替 運 用 額	
財 政 調 整 基 金	749,574,955	135,077,000	142,160,000	0	742,491,955
ふるさと市町村圏基金	216,869,486	102,030	4,447,000	0	212,524,516
衛 生 施 設 整 備 基 金	103,325,059	989,698	0	0	104,314,757
消 防 施 設 整 備 基 金	153,407,219	100,003,068	0	0	253,410,287
仙南芸術文化センター 財 政 調 整 基 金	56,646,029	4,313,205	4,000,000	0	56,959,234
合 計	1,279,822,748	240,485,001	150,607,000	0	1,369,700,749

ア 財政調整基金については、積立額 135,077,000 円、取崩し額 142,160,000 円で、年度末現在高は 742,491,955 円となっている。

イ ふるさと市町村圏基金については、積立額 102,030 円、取崩し額 4,447,000 円で、年度末現在高は 212,524,516 円となっている。

ウ 衛生施設整備基金については、積立額 989,698 円で、年度末現在高は 104,314,757 円となっている。

エ 消防施設整備基金については、積立額 100,003,068 円で、年度末現在高は 253,410,287 円となっている。

オ 仙南芸術文化センター財政調整基金については、積立額 4,313,205 円、取崩し額 4,000,000 円で、年度末現在高は 56,959,234 円となっている。

第6 審査意見

一般会計及び仙南芸術文化センター特別会計を合わせた決算額は、歳入総額 5,026,964 千円、歳出総額 4,879,006 千円で、これを令和 2 年度と比較すると、歳入では 288,956 千円 (5.4%) の減、歳出では 249,536 千円 (4.9%) の減となっている。歳入歳出差引額 147,958 千円で、歳入歳出差引額から繰越明許に伴う翌年度に繰り越すべき財源 99 千円を差し引いた実質収支額は 147,859 千円となった。令和 2 年度の実質収支額と比較すると、16,198 千円 (12.3%) の増となっている。

1 一般会計について

歳入総額 4,854,731 千円、歳出総額 4,722,244 千円で、これを令和 2 年度と比較すると、歳入では 299,781 千円 (5.8%) の減、歳出では 253,445 千円 (5.1%) の減となっている。

歳入は、令和 2 年度と比較すると、使用料及び手数料、県支出金、財産収入、繰入金、繰越金、組合債で 271,674 千円の増となったものの、分担金および負担金、国庫支出金、諸収入で 571,455 千円の減となったことによるものであり、歳出は、維持補修費、補助費等、普通建設事業費、積立金、公債費、で 283,526 千円の増となり、人件費、物件費、繰出金、災害復旧事業費で 536,971 千円の減となったことによるものである。

歳入歳出差引額は 132,487 千円で、繰越明許に伴う翌年度へ繰り越すべき財源 99 千円を差し引いた実質収支額は 132,388 千円となり、令和 2 年度の実質収支額と比較すると、9,282 千円 (7.5%) の増となっている。

歳入については、依存財源(市町負担金)の比率が高い現状を受け止め、なお自主財源の確保に努められるよう要望するとともに、歳出については、的確に執行予定額を把握し、不用額が生じる事実がある場合には、補正予算措置を行うなど必要な対策を講じ、引き続き限られた財源の有効活用を期待するものである。

2 特別会計について

歳入総額 172,233 千円、歳出総額 156,762 千円で、これを令和 2 年度と比較すると、歳入では 10,825 千円 (6.7%) の増、歳出では 3,909 千円 (2.6%) の増となっている。

歳入は、事業収入、使用料及び手数料、諸収入、組合債、国庫支出金で 20,897 千円の増となったものの、財産収入、繰入金、繰越金で 10,072 千円の減となったことによるものであり、歳出は、物件費、補助費等、普通建設事業費、公債費で 19,774 千円の増となり、人件費、維持補修費、積立金で 15,865 千円の減となったことによるものである。

歳入歳出差引額は 15,471 千円で、令和 2 年度の実質収支額と比較すると、6,916 千円 (80.9%) の増となっている。

一般会計と同様、自主財源の確保、的確な執行予定額の把握、限られた財源の有効活用に努めるとともに、引き続き利用者の利便性向上に向けた更なる取組を期待するものである。

3 財産の状況について

土地及び建物については、決算年度中の増減はなかった。

また、基金については、令和2年度決算剰余金による財政調整基金への積立てが78,100千円となっている。各基金への積立てが162,385千円、取崩し額が150,607千円となっており、令和3年度末現在高(各基金の合計)が1,369,701千円となっている。

今後も、引き続き適正管理に努められるよう要望するとともに、基金については、将来的な財政需要を十分踏まえ、計画的に積立てを行うよう要望する。

4 契約事務について

入札契約制度の透明性及び公正性を確保する取組については、一定の評価をする。

また、少額の契約事務にあっても、おおむね適切に処理が行われていた。

今後も業務等の発注に当たっては、契約事務の透明性及び公平性の確保・向上に努め、引き続き組織内チェック体制や各担当分野における専門性を強化し、より一層の契約体制の充実を期待するものである。

5 むすび

本年度にあっては、令和2年度からの事故繰越事業として、東日本台風災害で発生した廃棄物処理事業及び施設の復旧事業に加え、本年3月に発生した福島県沖地震に伴う災害関連による臨時的経費の支出が増加となった。

近年、大規模地震や集中豪雨が年々増加する傾向にあり、頻発・激甚化する自然災害に対応するため、防災・減災に向けた取組が必要であると思われる。

また、いまだ終息の見えない新型コロナウイルスの感染拡大は、社会のシステムや人々の生活に大きな影響を及ぼし、社会経済活動は長期低迷が続き、地方自治体の税収が落ち込んでいる状況下にある。

こうした中、構成市町においては、新型コロナウイルス感染症への対応をはじめとし、地域社会のデジタル化、防災減災対策事業への取組など、喫緊の課題が山積しており、ますます厳しい財政運営となっていくことが予想される。

組合においては、依存財源である市町負担金が歳入の大半を占める構造となっている中、今後も既存施設の維持補修や消防車両の更新、仙南芸術文化センターの基幹設備更新事業が見込まれていることから、継続して財政面に配慮した施策を実行していく必要がある。

構成市町の財政状況が一段と厳しさを増す中、最少の経費で最大の効果を上げるために、前例踏襲に陥ることなく、社会経済情勢の変化を的確に把握し、事務事業の優先度、緊急度等を精査し、限られた財源の有効活用を図るとともに、今後とも構成市町と連携を密にしながら、より一層の経済性・効率性・有効性に留意した財政運営に取り組まれない。

